

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 26年 12月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所としてのあるべき姿(理念、重点目標)を職員個々が把握する。	職員個々が意識を持ち、意義を感じて仕事へ移す。	職員会議を通じて、理念の共有を図り、前向きな姿勢と、思いの大切さをケアにシフトさせ、個々の向上に繋げる。	6ヶ月
2	19	個々の生活リズムの安定と、その中で見えている特性を活かし、刺激性を求めていく。	家庭的雰囲気大切に、第2の家庭となるよう支援し、家族様にもケアの協力者として働き掛けていく。	家族交流も季節毎に設けており、参加も多い。その中で一時の団欒の場にもなっている。相互の情報を密にし、共有化を今以上図っていき、安心した暮らしを提供していく。	6ヶ月
3	38	入居者個々の思いを大切に、安心した生活を提供する。	職員、入居者との関係性を大切に、会話、身体表現から、その思いをくみ取り、不安なき生活を送って頂く。	日々変化する中で、思いに対していかに気づき、不安を除去するか、又、その思いにより添い、実践する事の大切さを会議を通じて共有していく。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。